

もう他人事ではない 高齢化社会の 延命治療を考える!

続々と
重くのしかかる
介護の問題
医療の問題!

殺人か、尊厳死か、「川崎協同病院事件」
の女医唯一の独白記を新装増補して再び発刊

この本を手にとってくださいました
あなたにお聞きしたいのです。

私がしたことは 殺人ですか？

新装増補版



元・川崎協同病院呼吸器内科部長 現・大倉山診療所院長

須田セツ子

1/24(水)
搬入予定

書店様へ

「殺人か、尊厳死か」――。延命治療の中止が殺人罪に問われた川崎協同病院事件の当事者として思いのたけを綴った旧版は終末医療について問題提起をして大きな反響を呼びました。事件を題材にした映画や、小説なども発表されました。

あれから13年の歳月が過ぎますが、増加の一途をたどる高齢化社会の中で、終末医療の問題は、ますます大きなテーマになっています。

生と死、医療、司法、家族――と多くの問題を含んで終末医療についてみなさんはどう考えるでしょうか。本書がその一助となれば著者としてこれに勝る喜びはありません。

須田セツ子

発行：青志社

四六判並製 264ページ
定価：本体1500円+税

ISBN 978-4-86590-162-7 C0095

お問い合わせ：青志社 営業部 〒107-0052 東京都港区赤坂5-5-9赤坂スバルビル6F TEL03-5574-8511 FAX03-5574-8512

注文票	私がしたことは 殺人ですか？ 須田セツ子	番線印
	定価：本体1500円+税 ISBN 978-4-86590-162-7 C0095 発行：青志社	冊 (御担当 様)

※弊社書籍は「フリー入帳」をいたします。 担当：三浦